

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第162号



2020年3月11日発行

docomo

au/ソフトバンク

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail: yv2t-tnk@asahi-net.or.jp

046-823-0210 (内線433) 238-0006 横須賀市日の出町2-9



拡大幹事合宿講義その3 平和のとりくみ (みうらピースデー)

2015年から開催している非核平和イベント「みうらピースデー」は、00年代に大学で国際政治学を学んできた私にとって、“ものづくり”の楽しさを感じられる機会ともなっています。特に、このイベントを通じて、戦後生まれの語り部や映画監督など、平和に関わる人材を発掘し、毎年つながりが増えていくことにやりがいを感じています。最近では、上映会をきっかけに JICA 海外協力隊への派遣者が誕生しました。

非核平和の啓発だけでなく、こうした文化的ハブ（結節点）としての役割を担うことは、近年のミニシアターが持つビジョンにも近いかもしれません。

近年では、「誰に、何を、どのように伝えるのか」というコミュニケーション論の視点、とりわけ<ターゲット>の設定ないしく社会>の丁寧な分析が、「みうらピースデー」の継続にとって一層重要だと感じています。

三浦市職労 松本智之

評議員会で、春闘方針確立！

2/17(月)、第1回評議員会がクラブハウスで開催され、評議員7名と幹事9名が参加しました。

経過報告、会計報告、春闘方針案の提起を受け、討論では、三浦市職労から、会計年度職員の問題を1/29妥結合意した事、県職労からは、災害や児童虐待への対応職員増の事、自交総連からは、初乗り料金改定や白タク問題、8月のYデッキ宣伝について、年金者組合からは、のたろんフェアで年金相談、

年金裁判の事、合同労組からは、労働審判での調停合意とうわまち病院職員過半数代表選挙支援、愛加那からは、理事長急逝後の取組、うわまち病院からは、業務終了後の研鑽をめぐる取組と、過半数代表選挙の取組が報告され、事務局長からは、参加できていない神奈川みなみで、葉山クリニック閉院後、退職が起きている事や、全国一般では、在籍している組合員把握に向け、春闘アンケートを届ける取組を報告しました。



うわまち加藤委員長、223票獲得！

2/28、うわまち病院職員代表者選挙が開票され、加藤委員長は103票(10.6ポイント)増やし、223票(39.1%)を獲得しました。過半数を獲得した候補がいなかったため、相手候補の信任再投票となります。選挙選では、合同労組から2名応援に入るなど、横三労連と県医労連の全面的な支援を受け、36協定の特別条項をめぐる問題を提起し、相手候補を追い詰めました。